



DEPARTMENT OF THE NAVY
U.S. NAVAL SHIP REPAIR FACILITY AND
JAPAN REGIONAL MAINTENANCE CENTER
PSC 473 BOX 8
FPO AP 96349-0008

29 June 12



POLICY STATEMENT ON SAFETY AND OCCUPATIONAL HEALTH AT U.S. NAVAL SHIP REPAIR FACILITY AND
JAPAN REGIONAL MAINTENANCE CENTER
(SRF-JRMC), YOKOSUKA AND DETACHMENT SASEBO

艦船修理廠及び日本地区造修統轄本部 横須賀及び佐世保分所における労働安全衛生方針

1. 米海軍では、安全で健康的な職場環境作りの為の基本方針が OPNAVINST 5100.23G の中に定められています。私は、この方針を SRF-JRMC 従業員の為に全面的に支援します。しかし、私の力だけでは安全な職場環境を確保することは出来ません。安全とは全従業員の責任あります。横須賀と佐世保が安全で健康的な職場であるためには、皆さん一人一人が規則を遵守し仕事をすることが求められます。皆さんの安全と健康は私にとって最重要事項です。安全に関しては、私は如何なる妥協も許しません。

2. 我々の行う業務全てに安全は関わっています。経営戦略計画の基本方針の一つに安全を掲げたり、それぞれの職場に Voluntary Protection Program (VPP) 安全委員会が存在するのは規則で定められているからではありません。それは我々が皆さんに、職場内外に関わらず、常に安全に過ごして欲しいからなのです。我々の部隊が事故の無い職場環境を築きつつ “第7艦隊の艦船を常に機能出来る状態に保つ” ことは可能であり、私は最大限の支援をすることを確約します。そして、自分自身はもちろんのこと、同僚の安全にも弛むことなく注意を払って下さい。我々は、安全に関して類い稀なる記録を有しており、一般の造船所や米海軍工廠に比べ、かなり低い事故の頻度率と強度率の維持と米海軍作戦部長及び米海軍長官安全賞の受賞回数が、それを証明しています。

SRF-JRMC はこれらの受賞歴が示すような安全な職場環境作りに日々邁進をしなければなりません。そして、既に高い水準にある安全衛生の基準を維持し、更にその水準を向上させる為に、皆さんと私は共に歩んでくれることを大いに期待します。

3. 皆さんにとって最も安全で健康的な職場を築き上げる為に、私は皆さん一人一人が Voluntary Protection Program (VPP) を履行し続けることにより、世界に誇ることの出来る安全衛生プログラムを維持することを強く奨励します。米海軍の海外部隊において、海軍長官により初めて VPP スターに認証された部隊として以下に挙げる理念を通して、皆さん一人一人が自身の安全に対する当事者意識の強さを行動により私達の安全文化の一部として示す必要があります。

—私達はトップレベルの監督者から従業員一人一人に至るまで、全員が安全文化の更なる向上へ積極的にそして深く関与し、世界に誇ることの出来る労働安全衛生環境を実現する。

—私達は全ての作業において個人が安全規則に準拠することを目指し、作業工程一つ一つに存在する危険を明確にし、それらのリスクを許容可能なレベルまで低減させる。

—私達は常に正しい行動をとる。危険な作業環境やニアミスの報告をしたり、適切な保護具を使用することを通してチームメイト同士がお互いに意識を高め合う。

—私達はお互いに理想や理念についてコーチングをし合う。その理想や理念は、Voluntary Protection Program (VPP) や Operational Risk Management (ORM) を通して、皆さん一人一人、そして部隊内外のコミュニティーのために安全で健康的な職場環境を維持するために育まれていくものである。

何でも出来ます - 安全第一

M. A. バルー